

みやざきの農業農村整備事業

～ みやざきの農業・農村を元気にするための取組 ～



平成 27 年 12 月

宮崎県農政水産部

農 村 計 画 課

農村計画課 畑かん営農推進室

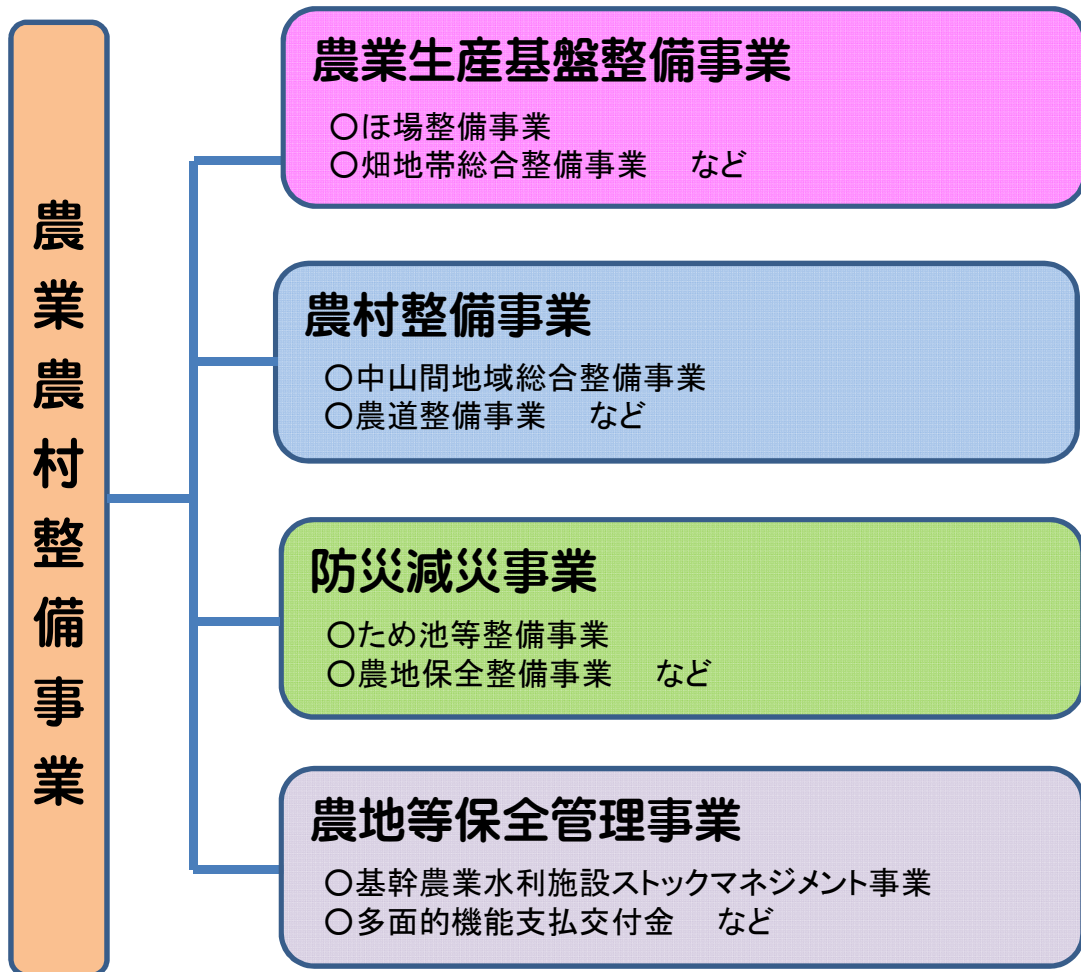
農 村 整 備 課

農業農村整備事業とは

農業・農村は、安全・安心な農産物の安定供給を図るとともに、その生産活動により県土の保全や美しい景観の形成など、県民の生活に重要な役割を果たしています。

この役割が十分に発揮されるためには、農産物の生産性の向上を図るための農地や水路、農道などの整備や保全管理、また、農村の集落道や飲雑用水など生活環境の整備が不可欠であり、その整備を総称して「農業農村整備事業」といいます。

農業農村整備事業は、「農業生産基盤整備事業」「農村整備事業」「防災減災事業」「農地等保全管理事業」から構成されており、受益者である農家の同意と申請に基づいて実施されるという特徴を有しています。



目次

(農業生産基盤整備事業)

- | | |
|--------------------|------|
| 1 水田地帯のほ場整備による事業効果 | 1～ 2 |
| 2 畑地帯の総合整備による事業効果 | 3～ 4 |

(農村整備事業)

- | | |
|---------------------|------|
| 3 中山間地域の総合整備による事業効果 | 5～ 6 |
| 4 農道整備による事業効果 | 7～ 8 |

(防災減災事業)

- | | |
|------------------|------|
| 5 防災・減災対策による事業効果 | 9～10 |
|------------------|------|

(農地等保全管理事業)

- | | |
|---------------------|-------|
| 6 施設の長寿命化の取組による事業効果 | 11～12 |
| 7 地域の共同活動による効果 | 13～14 |

水田地帯のほ場整備による事業効果

ほ場整備事業の概要

小区画で不整形な農地の区画整理を行い、併せて用水路や排水路、農道、暗渠排水などを総合的に整備することにより、大型機械の導入や水田の汎用化を可能にし農業の生産性を向上させます。

●整備の状況



狭野地区（高原町）



ほ場整備を契機とした経営体育成の促進や 6次産業化の取組

【狭野地区（高原町）の取組事例】

当地区で栽培した米、二条大麦を使用した焼酎、ビール等の製造加工を行い、農産物と併せて直売所「杜の穂倉」で販売しています。



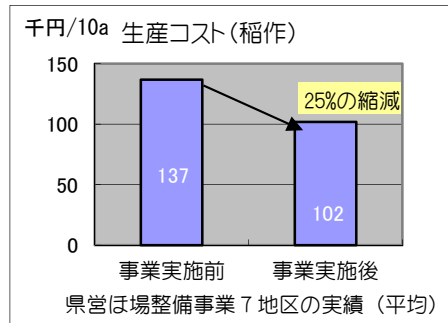
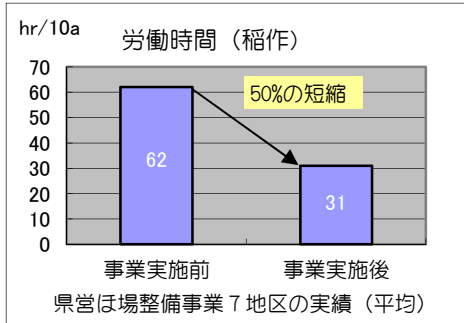
ほ場整備による営農の効率化や 担い手への農地集積の促進



代かき状況（水稻）



収穫状況（水稻）

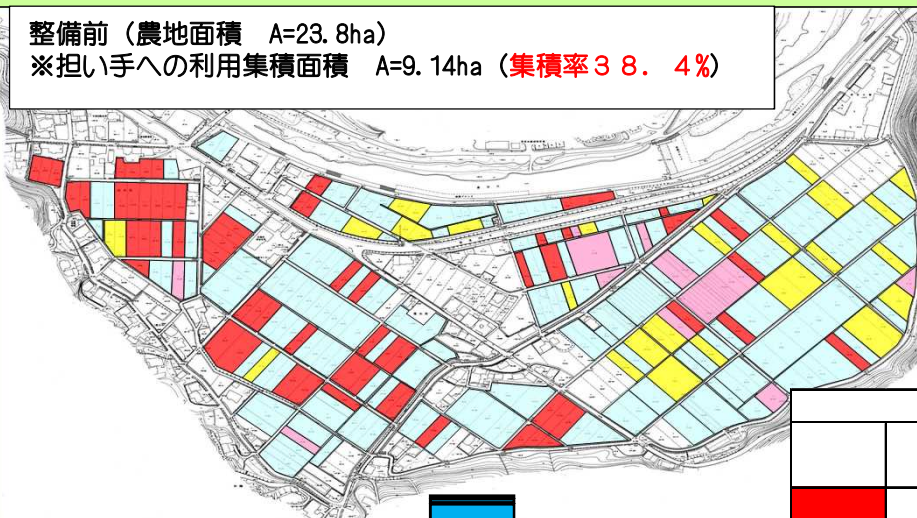


【中津留地区（日南市）の農地中間管理事業の取組事例】

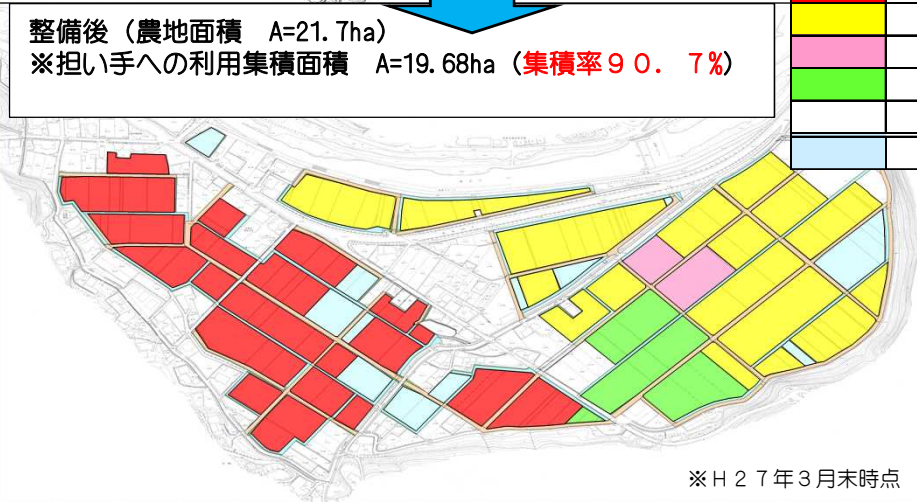
当地区では、ほ場整備と併せて農地中間管理事業と連携を図ることにより、担い手への農地集積が加速的に促進されました。

●中津留地区（日南市）農地集積状況

整備前（農地面積 A=23.8ha）
※担い手への利用集積面積 A=9.14ha（集積率38.4%）



整備後（農地面積 A=21.7ha）
※担い手への利用集積面積 A=19.68ha（集積率90.7%）



	凡 例		
	農家区分	耕作面積	
		整備前	※整備後
■	A1 担い手農家	4.77 ha	7.86 ha
■	A2 "	2.96 ha	8.75 ha
■	A3 "	1.41 ha	0.80 ha
■	A4 "	-	2.27 ha
	小計	9.14 ha	19.68 ha
■	B1 非担い手農家	14.66 ha	2.02 ha

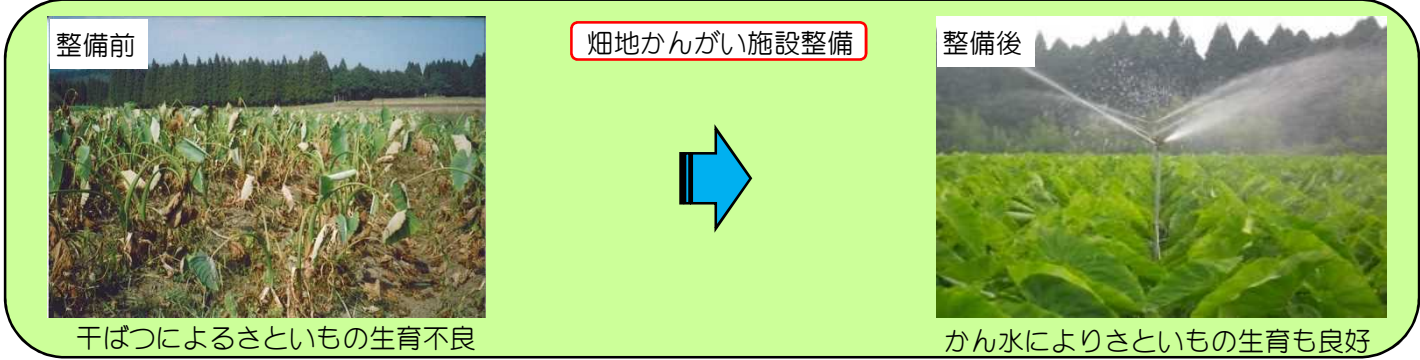
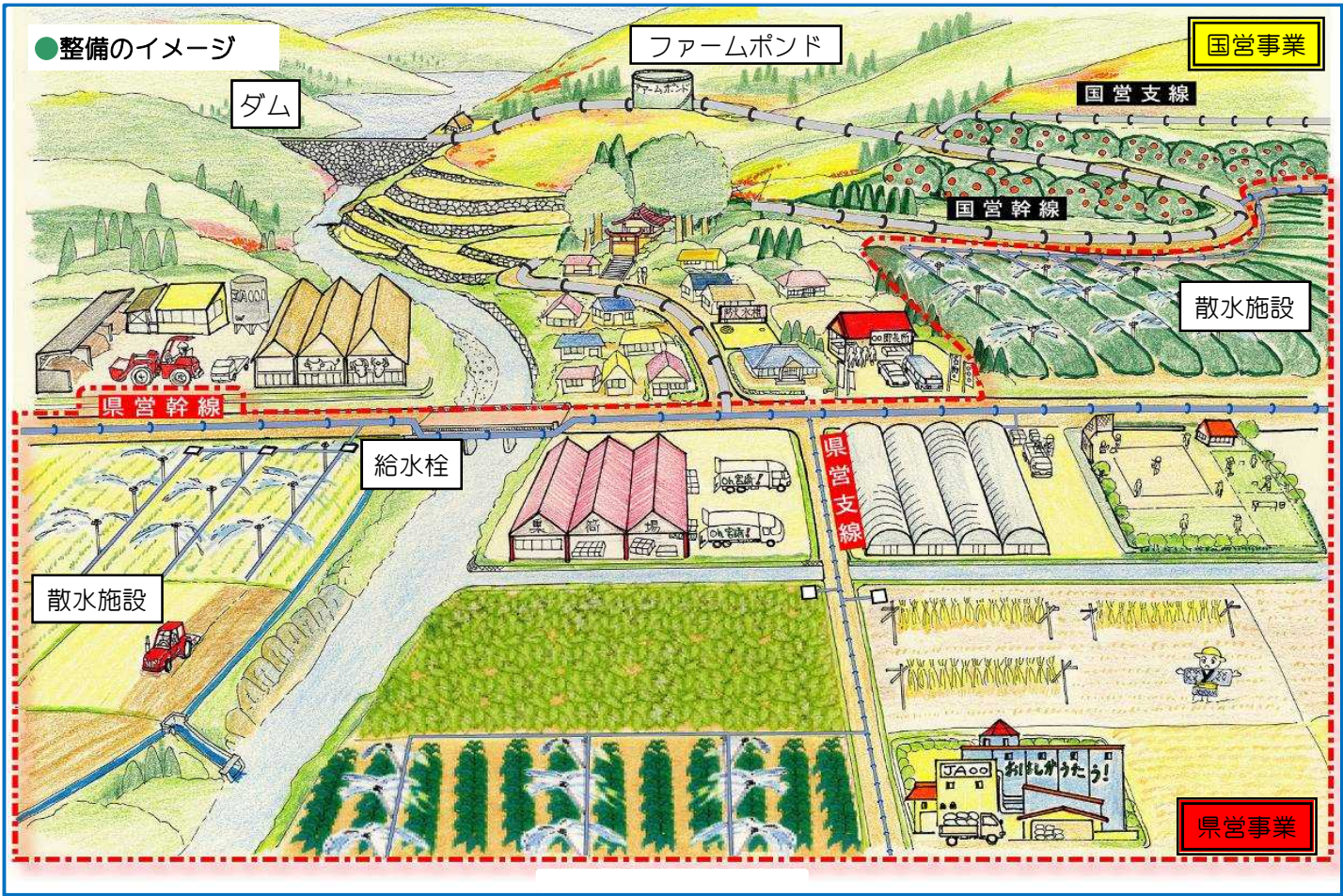
※H27年3月末時点

※H27年3月末時点

畑地帯の総合整備による事業効果

畑地帯総合整備事業の概要

畑地かんがい施設や農地の区画整理、農道などの整備を総合的に実施することにより、畑地帯の農業生産を向上させます。

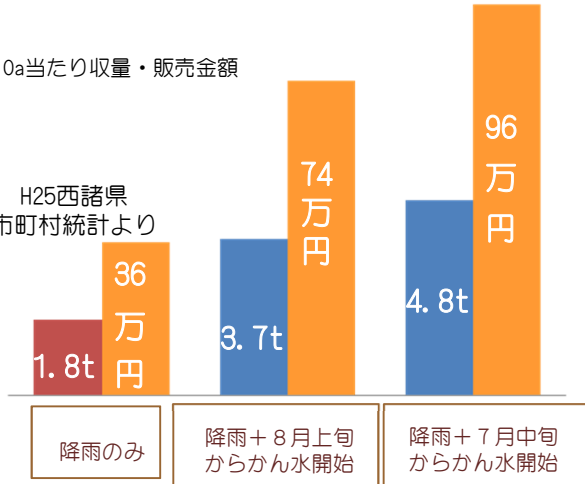


安定した農業用水による生産性向上

平成25年の「中生さといも」のかん水の効果事例

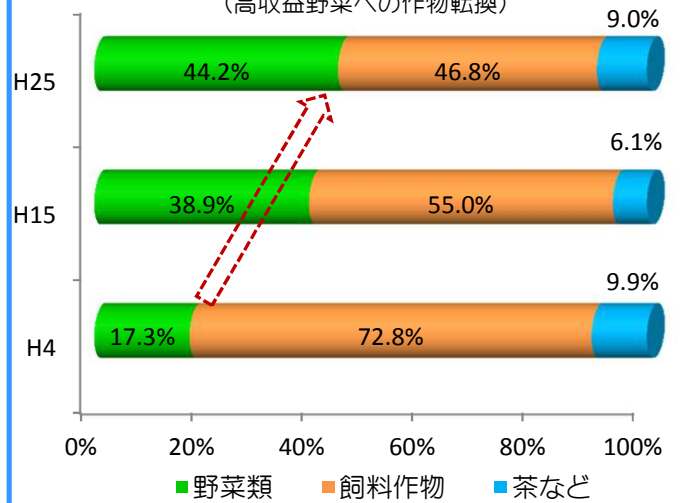
10a当たり収量・販売金額

H25西諸
市町村統計より



尾八重野地区（えびの市）実証ほ場調査より

栽培作物の変化
(高収益野菜への作物転換)



森田原地区（H3～H12年度事業実施）（都城市）作付調査より



自走式ローリンカーによるかん水状況（ほうれん草）



収穫状況（ほうれん草）



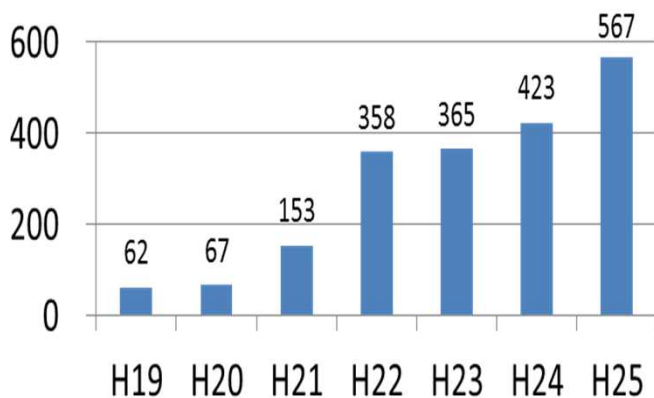
かん水状況（ごぼう）



施設園芸導入による新たな農業経営の展開

尾八重野地区（えびの市）の施設園芸面積の推移

(a)



増築されたハウス



カラピーマン

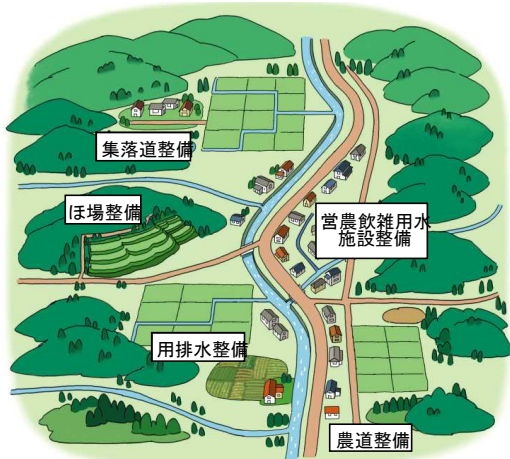
平成18年度から平成26年度に事業を実施した尾八重野地区（えびの市）では、畑地かんがい施設の整備に伴い、カラピーマンやトマトなどの施設園芸の面積が急速に増加しています。

中山間地域の総合整備による事業効果

中山間地域総合整備事業の概要

中山間地域は、地形条件等が厳しく農地の集積及び経営規模拡大に制約があるため、それぞれの地域の条件に即して、農業生産基盤と農村生活環境等の整備を総合的に実施し、農業・農村の活性化を図ります。

●整備のイメージ



急峻な地形に合わせたほ場整備 西郷地区(美郷町)



農道整備

整備前



深い轍ができ農業用車両の走行も危険な状況



整備後



路面が整備され安全な走行が可能となる

[天岩戸地区(高千穂町)]

営農飲雑用水施設整備

整備前



水源は湧水に頼っており、生活スタイルの変化等により水不足が発生



整備後



安定した水量が得られ畜産や防除用水としても活用

[天岩戸地区(高千穂町)]

農地造成による新たな営農の展開

～諸塚地区の事例～

諸塚地区（諸塚村）では2.6haの農用地を造成しました。Uターン等による新規就農者6名が入植し、高冷地の気候を生かした、ほうれん草、ミニトマト、スイートピーなどの生産に取り組んでいます。



造成された農用地には耐候性のビニルハウスが建てられ施設園芸が営まれている

世代を超えた集落活動の取組

～霧島地区の事例～

霧島地区（えびの市）は県内で初めて県営の中山間地域総合整備事業を実施しました。悲願であったほ場整備などの基盤整備に取り組んだ田代自治会は、高齢化の進行に対応する農作業受託組織の設立や世代を超えた若手農業者へのサポートなどの取組が認められ、平成25年度農林水産祭の「むらづくり部門」において、栄誉ある「**天皇杯**」を受賞しました。



世代を超えた取組が認められ栄誉ある天皇杯を受賞



地域の農業を支える陣の池とその水源となり美しい景観を誇る小池



水への感謝を表すシンボルは住民の手作りによるもの



長く途絶えていた夏祭りが、若者たちにより「ひまわりロードまつり」として復活



用水が安定供給され、ピーマンやイチゴなどの施設園芸も盛ん

農道整備による事業効果

農道整備事業の概要

広域農道や基幹農道など農村地域の基幹となる農道を整備することにより、農業生産性の向上及び農産物の流通の合理化、農村地域の生活環境の改善を図ります。

●整備の状況



農免農道 新田地区 (新富町)



2車線になり走行性・安全性が向上



増水時には通行止めとなる危険な潜水橋



橋梁が新設され、天候に関係なく安全な通行が可能

アグリパラダイス



農道整備とは場整備を一体的に行い、本農道沿いには、農事組合法人『アグリパラダイス』によりライスセンターが建設された



農道整備を契機とした地域の活性化

～五ヶ瀬地区の事例～

五ヶ瀬町では、平成5年に国のグリーンツーリズムモデル整備構想策定市町村の指定を受け、グリーンツーリズムによる町づくりを展開しています。

桑野内地区では、農道の整備と合わせて「夕陽の里づくり」に取り組み、『五ヶ瀬ワイナリーのオープン(H17.12)』『農家民泊の開業(H18.7)』などにより多くの人を訪れ、地域の活性化に大いに寄与しています。



夕陽の里フェスタ in 五ヶ瀬



企画から運営までのすべてを地域住民が行い、県内外から2,000名を超える人が訪れる

農家民泊者数の推移



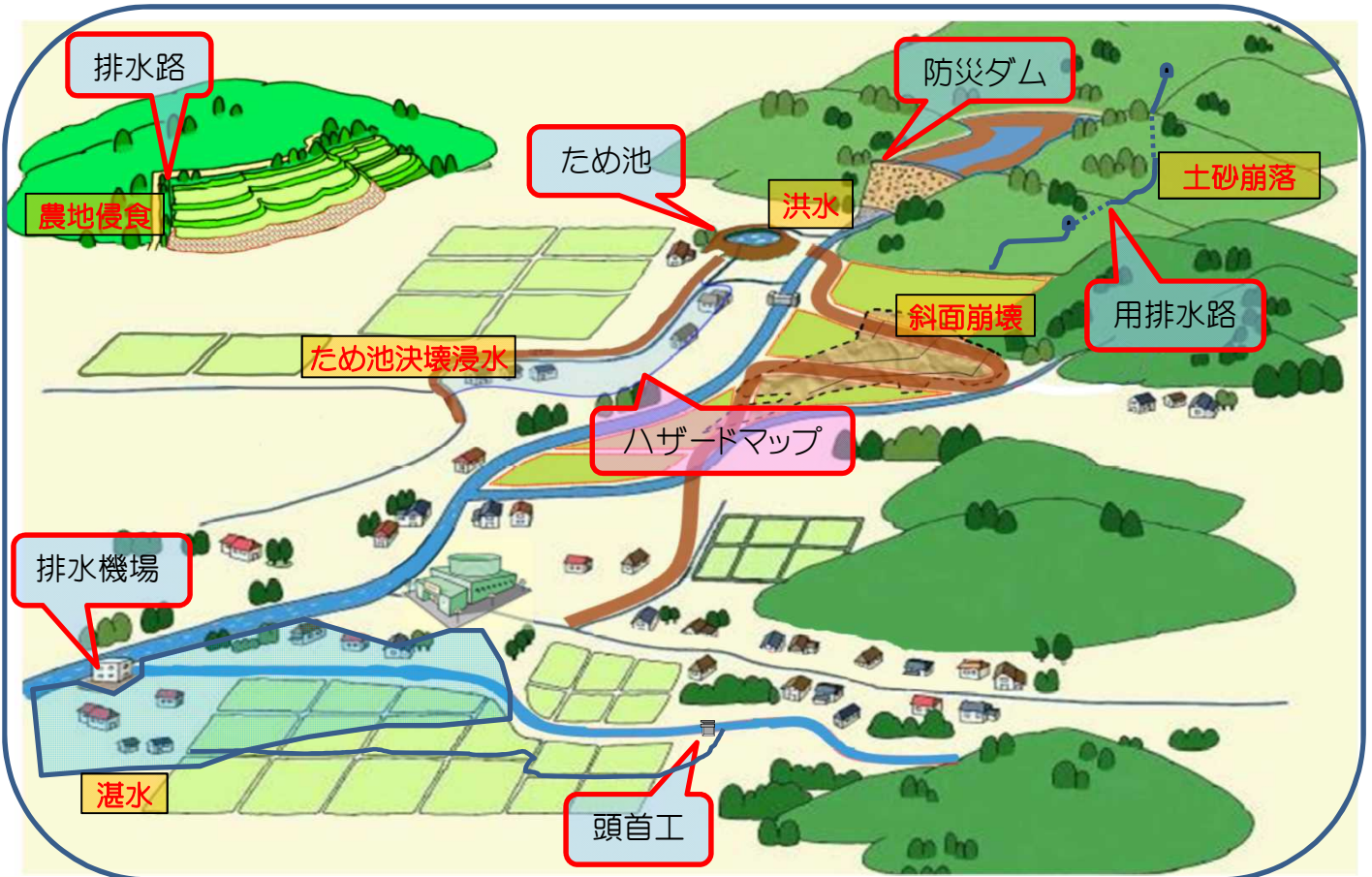
桑野内地区の農家9軒が民泊を行っており、国内外から多くの宿泊客を受け入れている

防災・減災対策による事業効果

防災・減災事業の概要

本県は、県土の全域がシラスなどの特殊土壌に覆われ、豪雨などにより侵食を受けやすいため、農地の侵食防止を目的とした排水路整備を進めます。
さらに、排水機場や頭首工、ため池を整備することにより、農地や農業用施設、住家、公共施設等の被害防止・軽減に努めます。

●整備のイメージ



被害を防止する取組

豪雨などによる農地や農業用施設への被害を防止し、農業生産の維持や農業経営の安定を図ります。

① 農地侵食を防止するための排水路の整備



② 湛水被害を防止するための**排水機場**の整備(嵐田地区:国富町)



豪雨による農地の湛水



排水機場を整備 (完成イメージ)

③ 河川の氾らんを防止するための**頭首工**の整備(歌糸地区:延岡市)



治水機能の劣る頭首工



転倒ゲートを整備

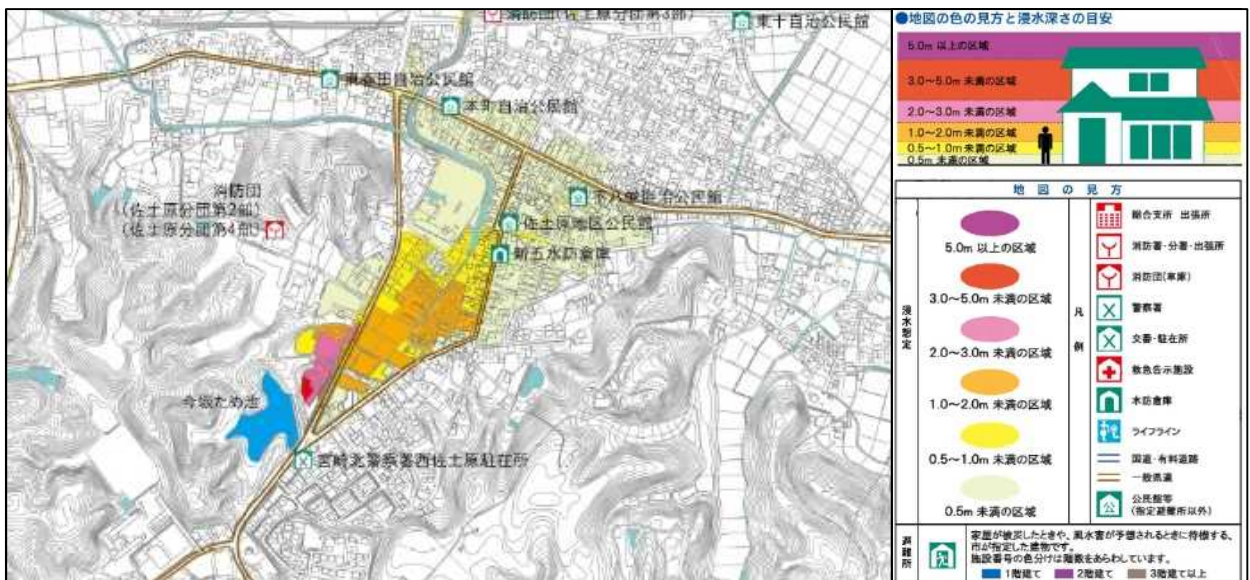
※生態系に配慮した魚道も整備

④ 決壊を防止するための**ため池**の整備



被害を軽減する取組

ため池の決壊から住民が安全に避難できるように、浸水範囲や避難場所を示した「**ため池ハザードマップ**」をホームページなどにより周知しています。



施設の長寿命化の取組による事業効果

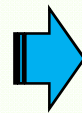
基幹農業水利施設ストックマネジメント事業の概要

農業水利施設の老朽化が進行する中、将来にわたって施設の機能を維持するため、施設の長寿命化とライフサイクルコスト※の低減を図りながら、施設機能の適正な保全管理を進めます。

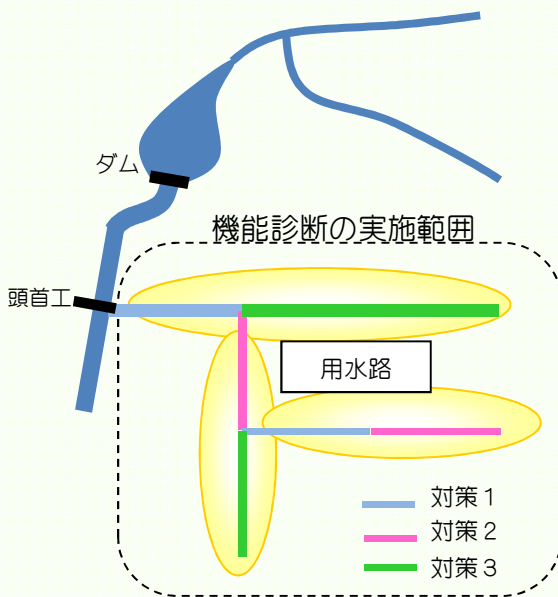
※ライフサイクルコスト：建設費に補修等の維持管理費及び廃棄に要する費用を合計した金額

●整備のイメージ

施設毎の機能診断を実施
(施設の機能の状態を調査し劣化度を判定)



劣化度に応じた対策を実施



【対策1】
健全な状態の用水路



監視しながらの継続使用

【対策2】



状態に応じて最適な補修・補強を実施



炭素シートで補強



表面被覆工

【対策3】



側壁が倒壊した用水路

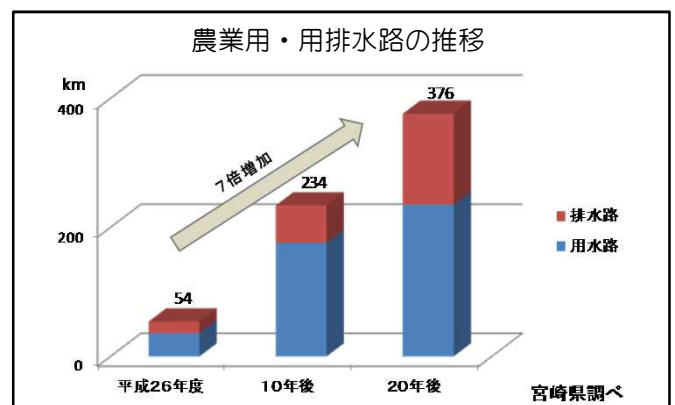
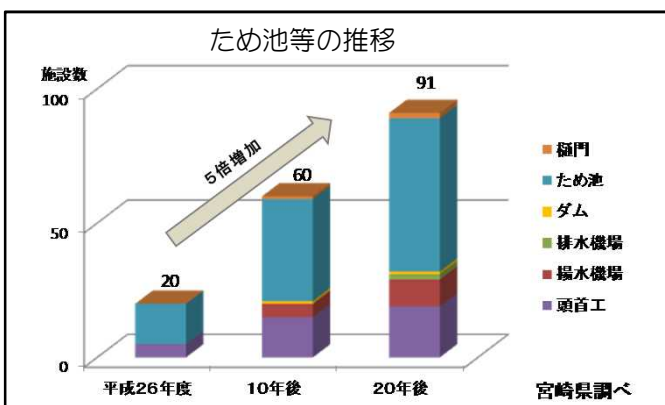
深刻な機能低下

必要な部分から再建設



部分的に再建設

建設後50年経過する県営造成施設の推移



農業水利施設の突発事故

施設の劣化による事故が発生



パイプライン漏水による道路被災状況



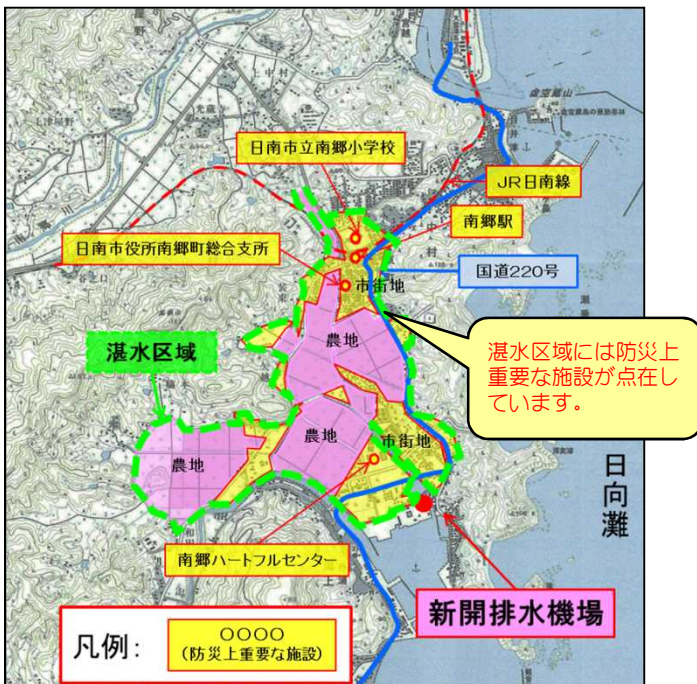
排水機場 原動機エンジンの加吸器焼き付け

施設機能を維持するための取組

<新開地区（日南市）の例>

効果

- ① 排水ポンプの寿命を **2倍に延命**（計画的な補修などを実施）
- ② ライフサイクルコストを約 **3割低減**（40年間の評価期間で算定）



整備後の排水ポンプ



整備後の移動式除塵機

対策工事を実施しなければ・・・

【排水ポンプの停止に伴い、市街地を含む約 **100ha** において、**浸水被害**が発生する恐れ】
長時間にわたり、農作物のほか公共交通機関や風水害時の緊急避難施設が影響を受けます。

昭和53年9月秋雨前線（日雨量130mm）

※写真は排水機場造成前の浸水状況



地域の共同活動による効果

多面的機能支払交付金の概要

農業・農村が有する国土の保全、水源のかん養、良好な景観の形成など多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動による農地や水路などの地域資源の適切な保全管理を支援します。

●制度の内容



特色ある地域の共同活動

学校教育と連携し、小学生に農村環境の大切さを啓発

収穫祭の餅つきを通じて世代間の交流や地域のつながりを強化

ため池の排泥を行うため、うなぎのつかみ取り大会を実施

地域課題に対応した活動 (宮崎県独自の取り組み)

【鳥獣害対策】



鳥獣被害対策マップを作成



対策の実践



えさ場となる果樹を伐採



侵入防止柵の設置

【遊休農地の発生防止】



遊休農地の発生防止策や解消法の話し合い



農地の改善



暗渠排水による湿田の解消



畦畔除去による大区画化

地域の活性化につながった活動事例

きゃべつ畑のひまわり祭り

上空からの写真

駐車場づくり

出店

迷路づくり

イベント後ひまわり鋤きこみ

花見台設置

- 染ヶ岡地区環境保全協議会(高鍋町)
 - ・ヒマワリを緑肥として使用したことをきっかけに町を代表するイベントとして発展
 - ・2日間で1万人の来場があり、地域の活性化に貢献
 - ・平成26年度農林水産祭むらづくり部門で「内閣総理大臣賞」を受賞

九州一の芝桜の里

芝桜の里

一里山の由緒

シバザクラロード 一里山

- 一里山ふるさとづくり推進協議会(宮崎市)
 - ・芝桜の植栽で1万人が訪れる観光地に発展
 - ・知名度が増す中で集落の意識が高まり、集落活性化の話し合い活動が活発化
 - ・平成27年度全国花のまちづくりコンクールで「団体部門優秀賞」を受賞

ひなたのチカラ。

ひなた。それは漢字で書くと「日向」。
ふりかえれば、宮崎は神話の時代から
「日向」と称されてきた土地でした。

ひなたは、ゆったりした時間をつくる。
ひなたは、人柄をあたたくする。
ひなたは、太陽の恵みで豊かな食を生み出す。
ひなたは、人々に希望と活力をもたらす。

いま、この国に必要なのは、
そんなひなたのチカラだと思う。

宮崎を、日本のひなたのような存在へ。
そう願う私たちの取り組みが始まります。



◆ 問 合 せ 先 ◆

宮崎県農政水産部	農村計画課		0985-26-7125 (直通)
〃	農村計画課	畑かん営農推進室	0985-26-7129 (直通)
〃	農村整備課		0985-26-7143 (直通)
中部農林振興局	農村計画課	国営・計画担当	0985-26-7282 (直通)
南那珂農林振興局	農村整備課	計画担当	0987-23-4314 (直通)
北諸県農林振興局	農村計画課	国営・計画担当	0986-23-4514 (直通)
西諸県農林振興局	農村計画課	国営・計画担当	0984-23-4187 (直通)
児湯農林振興局	農村計画課	国営・計画担当	0983-22-1367 (直通)
東臼杵農林振興局	農村計画課	計画担当	0982-32-6137 (直通)
西臼杵支庁	農政水産課	農村計画担当	0982-72-2108 (直通)